



生活クラブ
でんき

1/1 ⇨ 3/20



選べるキャンペーン始まりました！

生活クラブでんきにするなら今！



SIGG のボトル
スイス製

ロゴTシャツ
(S・L) 100%綿



BAGGU のバッグ
100%リサイクルナイロン

竹製ミニうちわ &
ロゴ手ぬぐい



生活クラブでんきにして、エコなグッズをもらってね！

そして、原発や気候危機のない未来を

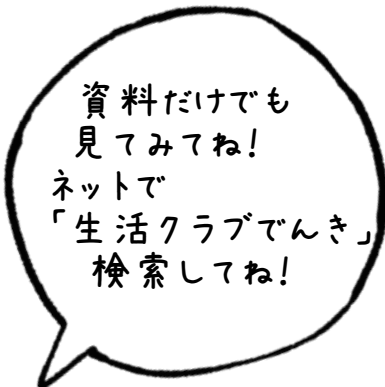
これから生まれる子どもたちへプレゼントしよう！

選べるプレゼントの数には限りがあり、ご希望に沿えない場合があります。

お早めのご契約手続きをお願いいたします。

お問合せは 生活クラブ大阪 組織運営課 072-641-5561

申込みは WEB サイト「お申し込み」から！



資料だけでも
見てみてね！
ネットで
「生活クラブでんき」
検索してね！

生活クラブでんき



検索！

契約している電力会社の「電気料金のお知らせ」や WEB サイトの
「マイページ」に載っている番号を用意！

お客様番号 供給地点特定番号

クレジットカード払いも OK！

必要事項を入力するだけで切り替え手続きは完了です！

※今契約している電力会社へ解約を知らせる必要はありません。

エネカード

生活クラブでんきへの質問

「生活クラブでんき」の契約書、資料お届けします 2025.1

契約書類がほしい 説明を聞きたい 資料がほしい

●お名前	●携帯電話... ショートメールをお送りすることがあります	●組合員コード
------	-------------------------------	---------

記入された情報は規則に沿って管理し、生活クラブ生協大阪の活動以外の目的には使用しません

庄内遊佐太陽光発電所と庄内ローカル SDGs

11月1・2日、山形県庄内地域（酒田市、遊佐町）の庄内ローカル SDGs 視察交流会に参加し、

地域資源の太陽光発電事業から生まれた利益がどのように地域で活用されているか、実践報告を聞いてきました。

平田牧場（ハムなど）や遊 YOU 米の産地として 50 年以上の提携関係を続けている庄内地域には多くの生産者がいます。

酒田市長、遊佐町長はともに生活クラブ組合員とのことで、この地域と生活クラブの関係性の深さを感じました。

エネルギー 生活クラブ大阪も出資した太陽光発電所は 5 周年を迎えています。採石工場跡地に建てた発電所は管理者により綺麗に草刈りされていました。

八丁トンボの生息地で、夏はトンボだらけになるとのこと。除草剤など使わず、生態系を壊していないことがわかりました。

ビオトープ傍にある看板には、個人で出資した人の名前が載っており、知った名前を見つけ、自分たちの発電所であることを実感！！

山に近い場所で、周りに住んでいる人は少なく、住宅からも十分な距離があり、それを見て安心しました。

昨年 7 月の豪雨災害により、近くの大豆畑に被害が出ました。発電所にも水が流れ込みました。温暖化で雨量が増えています。CO₂排出を減らせる「生活クラブでんき」を使う人が増えてほしいです。



▲看板に〇〇さんお名前発見！

▲住居棟 2 階から見た交流棟



▲改装中のお餅工場。東北では珍しく丸餅を食べる庄内。北前船の影響か、港町酒田に残った関西文化。



▲遊佐町庁舎は生活クラブでんきを利用。「生活クラブでんきを使っています」の額が飾られていました。

消費材 遊佐町共存の餅加工工場見学

2 年前に廃校になった小学校の給食室・食堂を庄内自然エネルギー発電基金助成を活用し、お餅の工場へ改装しています。

廃校は少子化の加速が理由です。建物はまだ新しく、雰囲気のある木造校舎。図書館はつくりたてのお餅を食べられるスペースにして、地域の人や訪れる人が集える場所にするとのこと。こうした取り組みが、人口減少を食い止める力になるといいです。

基金の助成で導入アイガモロボ（田んぼ除草ロボット）

田んぼで 2 年間使用した方は、大絶賛！水位など注意は必要ですが労働時間を短縮できたとのこと。ただ、世間では評価が分かれたそうで、新型が出るようです。動画で見た新型のアイガモロボは、機敏に動いて土を混ぜる効果も高そうでした。価格も低下します。

TOCHITO



▲共有スペースにあるペレットストーブも基金助成で導入



▲アイロンや工具などもシェアしている。

ケア・福祉 庄内エネルギー発電基金を活用して建てた「TOCHITO（とちと）」は、生活クラブ組合員が酒田という土地に移り住み、地域の人々となつながら、自分らしさを活かしながら、自らの暮らしとまちの未来を、みんなの力で創り出していこう、という取り組みです。

住民は、平田牧場で働いたり、ボランティアや畑をしたりとのんびりというより、それぞれ積極的に暮らしていました。動画での報告からも、よい関係であることが伝わりました。

住まいには、工夫がいっぱい。基金で導入された EV シェアカーだけでなく、ミシンや精米器など住民の家電もみんなでシェアできるコーナーをつくっていました。

交流棟の屋根で太陽光発電。蓄電池もあり、停電時に使えます。住居棟は全戸「生活クラブでんき」を利用しています。

生活クラブでんきの約束 5 生活クラブの提携産地との連携を深め、エネルギー自給率を高めます
山形県庄内地域と生活クラブの食とエネルギーと福祉の取り組みが評価され受賞しました。



原発、
ないほうが
いいよね。

温暖化で増える災害
食べ物はどうなる？
何かできることは？

電気を「生活クラブでんき」に変える！
これがまず第一歩。
次の世代のために、できることから
やってみて！